

モニタリング結果報告書
(令和6年度)

1. 施設概要

施設名	相模三川公園		
所在地	海老名市上郷二丁目他		
サイトURL	https://www.kanagawa-park.or.jp/sagamisansen/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成16年3月)		
指定管理者名	神奈川県公園協会・サカタのタネグリーンサービスグループ		
指定期間	R4.4.1～R9.3.31 (2022年)(2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (厚木土木事務所 東部センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>＜評価の理由＞ 利用状況の評価はA、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はAとした。</p> <p>＜今後の課題・対応等＞ 利用状況については天候に左右されたが、せせらぎ祭りの開催や各種のイベントを実施するなど柔軟に対応し、利用者数は例年並みの実績となった。 利用者満足度の評価については、芝生や草花が整えられ、こまめなグラウンド整備等により、質の高い維持管理・運営管理がなされ、トイレ等の清掃も行き届いており、優れた評価となっている。 引き続き、良好な管理運営水準の維持と災害に備える姿勢に期待する。</p>
<p>＜各項目の詳細説明＞</p> <p>◆管理運営等の状況 事業計画書に基づいて、せせらぎ祭りなどの地域との交流促進の取り組みやIT技術を活用した広域利用に向けた情報発信、河川環境や防災を学び実践する場づくりを実施した。 利用者が気持ちよく利用できるような広大な芝生の刈込や草花の植え付けをこまめに実施するとともに、鳩川沿いの桜並木については樹木医診断したうえで、剪定等の適切な対策を実施して利用者の安全確保を図った。 また、県発注のグラウンド補修工事が入札不調になったが、利用者の安全確保を図るためにグラウンド材を補充し、不陸整正(地面の凸凹を平らにする作業)対応を行ったことは評価が高い。 大雨洪水時には水防配備するとともに、高水敷にあるグラウンド施設の倒伏等の訓練や来園者が参加した避難訓練を継続的に実施しており、日頃から災害に備えている姿勢は評価できる。</p> <p>◆利用状況 利用者数については、年間を通じて天候に左右されつつも、春と秋のせせらぎ祭りやあつぎ鮎まつり花火大会といった大きなイベントに対応し、昨年度利用者の99.1%、目標達成率は103.1%となり、例年並みの実績のA評価となった。季節行事に合わせた展示や園内樹木に飾り付けを行うなど、利用促進を図る努力がうかがえた。</p> <p>◆利用者の満足度 「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が96.5%と高く、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 収入は自販機利益が好調で、当初予算額より全体としては上回った。支出は材料費や人件費の高騰の影響を受けたことから、収支差額は106千円マイナスとなり、収支比率が微減の99.89%となったためB評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 高木の剪定要望など5件あったが、適切に対応した。 トイレや園内清掃状況など利用者が目につきやすい点についての苦情がなく、日頃の維持管理の成果が表れている。</p> <p>◆事故・不祥事等 2件の利用者に起因する事故があったが、指定管理職員による事故はなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査及び労働基準監督署からの指摘事項はなかった。</p> <p>◆その他 なお、令和6年度の3項目評価についてはA評価とした。</p>

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況	利用者の満足度	収支状況	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。 S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
	(項目6参照)	(項目7参照)	(項目8参照)	
A	A	S	B	

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	月1回の月例業務報告時は対面にて意見交換を行った。その他、電話やメールにて施設の管理運営上の課題等を情報共有している。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
利用促進のための取組 ・利用者や地域の交流が生まれるイベント企画・運営 ・閑散期の利用促進 ・広域的な利用の促進 ・IT技術の活用による利用促進	・春と秋のせせらぎ祭り(参加者3109人)、夏の毎日ラジオ体操(参加者856人)、小学校の昆虫観察や中学校の職業体験、健康まつり(参加者650人)など、自治会や学校、実〇委員会と連携した取組の実施 ・七夕、ハロウィン、クリスマス、雛飾りなど、季節の行事に合わせた展示や園内樹木への飾り付けを実施 ・ホームページでの有料施設予約情報、荒天時の周知や花の見所、イベント情報などを継続発信 ・SNSでの桜並木の開花情報や花壇の様子を継続投稿 ・YouTube公式チャンネルにおける情報発信	今後も地域との交流イベントを継続的に実施するとともに、IT技術を活用した情報発信により広域的な利用促進に繋がることに期待する。
公園を舞台に河川環境や防災を学び実践する場づくり ・園内の多様な環境の活用 ・河川防災に関する講座や避難訓練の実施 ・台風の接近、大雨洪水に関する対応	・河川環境教育として「相模川流域見学会」を開催 ・台風や大雨洪水時における水防配備体制の設置と、高水敷にあるバックネットの倒伏やベンチ撤去等の訓練を実施 ・地元自治会との共同防災訓練の実施 ・A E D消防訓練や消火訓練、避難訓練を実施	河川区域内の公園のため日頃から水防配備体制を整え対応していることや災害に備え各種の訓練を実施していることは大変評価できる。
施設の維持管理 ・年間を通じて様々な花や緑に魅せられ、楽しみ、感動できる管理	・鳩川沿い桜並木の剪定やケーブリングなどの保全対策を実施 ・芝生の刈込や夕焼けの丘への花植えなど日常的な管理に加え、イングリッシュガーデンのリニューアルを実施	利用者から、管理状況が良く、手入れが行きとどいているとの意見が寄せられている。 今後も質の高い維持管理に期待する。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
物販事業 県立都市公園のPRのためのカレンダー、日よけテントの貸出	計画どおり事業を実施した。
ケータリング売店事業 公園利用者へのサービスとして安全な食品の提供	計画どおり事業を実施した。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上　A：100%以上～110%未満　B：85%以上～100%未満　C：85%未満
A	※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	463,243	462,998	458,960
対前年度比		99.9%	99.1%
目標値	434,000	439,000	445,000
目標達成率	106.7%	105.5%	103.1%

目標値の設定根拠：	提案書記載目標数値
利用者数の算出方法（対象）：	駐車台数と団体利用者数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

＜備考＞
利用者数については、年間を通じて天候に左右されつつも、春と秋のせせらぎ祭りやあつぎ鮎まつり花火大会といった大きなイベントに対応し、昨年度利用者の99.1%、目標達成率は103.1%となり、例年並みの実績のA評価となった。季節行事に合わせた展示や園内樹木に飾り付けを行うなど、利用促進を図る努力がうかがえた。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上　A：70%以上～90%未満　B：50%以上～70%未満　C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	適切な公園管理により、前年度と同様に高い満足度が得られ、S評価となった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容	公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか				
実施した調査の配布方法	利用者に直接配布	回収数／配布数	199	／	201　＝　99.0%
配布(サンプル)対象	公園利用者				

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	155	37	3	4	0	199	・清掃や管理が行き届いている。 ・日影が少ない。
回答率	77.9%	18.6%	1.5%	2.0%	0.0%		
前年度の回答数	158	36	0	2	0	196	
前年度回答率	80.6%	18.4%	0.0%	1.0%			
回答率の対前年度比	97%	101%		197%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

＜備考＞ 「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が96.5%と高く、S評価となった。

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	88,392	4,745	8,279	自販機 2,844 駐車場 5,435	101,416	101,416	0	
	決算	88,392	5,217	8,593	自販機 3,196 駐車場 5,397	102,202	99,238	2,964	102.99%
前年度	当初予算	91,017	4,792	8,361	自販機 2,872 駐車場 5,489	104,170	104,170	0	
	決算	91,017	5,109	7,847	自販機 2,965 駐車場 4,882	103,972	103,893	79	100.08%
令和6年度	当初予算	86,447	4,839	8,443	自販機 2,900 駐車場 5,543	99,729	99,729	0	
	決算	86,447	4,803	8,611	自販機 3,225 駐車場 5,386	99,861	99,967	-106	99.89%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
令和6年度 /	前年度 /	前々年度 /	

＜備考＞ 収入は自販機利益が好調で、当初予算額より全体としては上回った。支出は材料費や人件費の高騰の影響を受けたことから、収支差額は106千円マイナスとなり、収支比率が微減の99.89%となったためB評価となった。
--

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	メール	3 件	・高木剪定の要望 ・グラウンドからボール飛来の苦情 ・早朝のグラウンド作業の騒音苦情	・高木剪定を実施することを説明 ・防護ネットの立地と構造を説明 ・規定時間に作業することを説明
	来園	1 件		
職員対応		件	—	—
		件		
事業内容		件	—	—
		件		
その他	来園	1 件	・公園外への落葉の苦情	・垣根ネットで防護
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☐ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R6. 5. 11	①大型複合遊具のステップからジャンプして鋼材に飛びつこうとして手が滑り、落下し頭部を打撲した。 ②5月13日電話とメールで確認。 ③注意喚起の貼紙をして再発防止を図った。 ④無 ⑤通常の使われ方ではなかった。 ⑥無
R6. 5. 17	①大型複合遊具の転落防止柵頂部に登り、近くの柱からよじ登って遊具床板に飛びつこうとしたが手が滑り、落下し右手首を骨折した。 ②5月20日電話とメールで確認。 ③注意喚起の貼紙をして再発防止を図った。 ④無 ⑤通常の使われ方ではなかった。 ⑥無
R7. 3. 30	①運動施設の物置に立てかけている一輪車に焼け焦げの後を発見した。 ②3月31日電話とメールで確認。 ③警察に相談した。 ④無 ⑤近くに残っていたたき火の燃え跡が起因とみられる。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。